



# 羅臼町議会だより



# しれとこ

第1回定例会・第2回・第3回臨時会 .....	2～3
令和3年度予算 .....	4～5
一般質問(4人) .....	6～9
Zoom up!・議会改革サポート会議 .....	10～13

令和3年

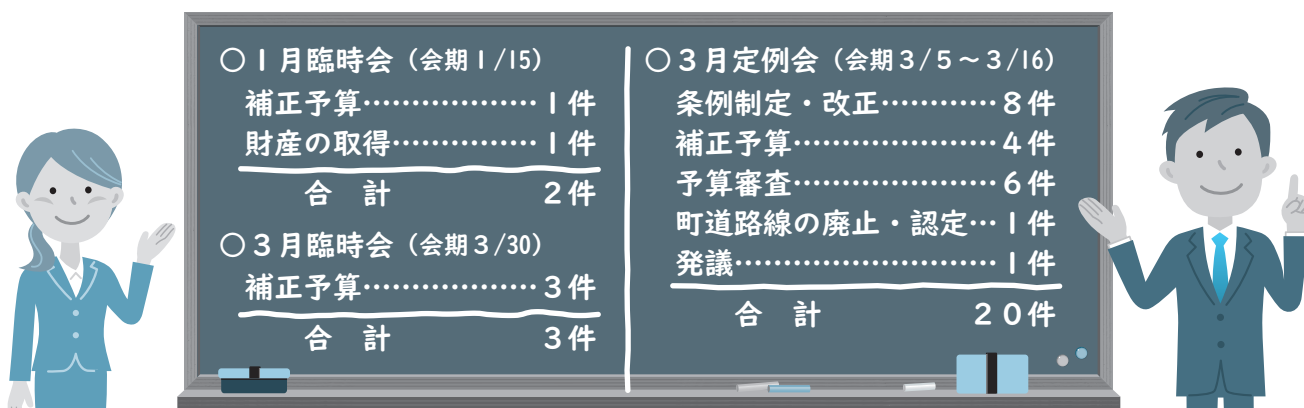
**第167号**

4月25日



コロナ感染症対策議場

# 1・3月臨時会と3月定例会でこんなことが決まりました



## ■ 1月臨時会で可決した議案一覧

議案番号	議案名	内容
議案	1号	一般会計補正予算 令和2年度一般会計補正予算について
	2号	財産の取得 町有バス 1台 1,067万円 釧路市入江町2番23号 三菱ふそうトラック・バス(株) 北海道ふそう釧路支店

## ■ 3月定例会で可決した議案一覧

議案番号	議案名	内容
議案	3～6号	一般会計、3特別会計補正予算 令和2年度一般会計補正予算や、国民健康保険事業、後期高齢者医療事業、国民健康保険診療所事業特別会計の補正
	7～12号	一般会計予算、4特別会計予算、水道事業会計予算 議員全員による予算特別委員会を設置して審査
	13号	羅臼町議会議員及び羅臼町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例制定 公職選挙法の一部改正により、町村議会の選挙における立候補の環境を改善するため、供託金制度を導入。選挙運動用自動車の使用、ビラ、ポスターの作成が公費負担となる。
	14号	羅臼町議会議員の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の一部を改正する条例制定 町長選挙におけるポスター掲示場が設けられることになる。
	15号	重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定 健康保険法の一部が改正され、オンラインによる資格確認が導入された。 ※オンライン資格確認 個人番号カードのICチップ又は被保険者証の記号、番号等によりオンラインで医療保険の資格を確認すること
	16号	羅臼町介護保険条例の一部を改正する条例制定 3年ごとに見直される介護保険法の改正に伴い、現在の保険料率は令和5年まで延長された。
	17号	羅臼町指定介護予防支援等に関する条例の一部を改正する条例制定 指定居宅サービス等の基準が一部改正され、利用者の人権擁護、虐待防止のための体制整備が強化された。
	18号	羅臼町介護保険法に基づく指定地域密着型介護型サービス事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例制定
	19号	羅臼町介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例制定 指定居宅サービス等の基準等の一部改正により、利用者の人権擁護、虐待防止のための体制の整備とともに従業者の研修等が強化された。
	20号	羅臼町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定 主任介護支援専門員の確保が著しく困難である等やむを得ない理由がある場合については、介護支援専門員を管理者とすることが認められた。
21号	町道路線の廃止及び認定について 町道海岸3号線の廃止 延長L=588.3m	
発議	1号	羅臼町議会会議規則の一部を改正する規則制定 議会欠席の届出の事由に「公務、傷病、出産、育児、介護、配偶者の出産補助その他やむを得ない事由」が追加された。

## ■ 3月臨時会で可決した議案一覧

議案番号	議案名	内容
議案	22～24号	一般会計及び水道事業会計補正予算 令和2年度一般会計、水道事業会計補正予算。 令和3年度一般会計補正予算。

〈条例概要〉

条 項	内 容
(趣旨) 第1条	公職選挙法の規定に基づき、羅臼町議会議員及び羅臼町長の選挙における選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ピラ、選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関して必要な事項を定めています。
(選挙運動用自動車の使用の公費負担額及び支払手続) 第4条	(1) 一般乗用旅客自動車運送事業者との運送契約 1日当たり64,500円を上限として、運動期間中使用日数分 (2) 一般運送契約以外の契約 ア) 選挙運動用自動車の借入契約 1日当たり15,800円を上限として運動期間中使用日数分 イ) 選挙運動用自動車の運転手の雇用に関する契約 1日当たり12,500円を上限として運動期間従事した日数
(選挙運動用ピラの作成の公費負担) 第6条	法に規定する供託物没収とならない限り選挙運動用ピラを無料で作成できること ※町議会議員の供託金は15万円
(選挙運動用ポスターの作成の公費負担) 第9条	法に規定する供託物没収とならない限り選挙運動用ポスターを無料で作成できること

三月定例会において、公職選挙法の一部が改正されたことによる「羅臼町議会議員及び羅臼町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例」が制定されました。

町議会議員及び町長選挙における選挙運動の公費負担制度がスタート

詳しくは選挙管理委員会まで



水産加工事業者経営安定対策支援事業  
1,550万円



プレミアム付商品券発行事業  
3,657万円



庁舎内コロナ対策飛沫防止パネル設置事業  
220万円

一般会計

新型コロナウイルス感染症対策  
関連事業補正予算

一般・特別会計補正予算額一覧  
(千円以下切捨)

- 1月臨時会 (1月15日)  
◎令和2年度一般会計補正予算 (第1号)  
1,023万円増額 計62億5,491万円
- 3月定例会 (3月5日)  
◎令和2年度一般会計補正予算 (第3号)  
6,224万円減額 計61億9,267万円
- ◎令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算 (第4号)  
1,481万円増額 計10億7,426万円
- ◎令和2年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第5号)  
8万円増額 計7,318万円
- ◎令和2年度国民健康保険診療所事業特別会計補正予算 (第6号)  
一般会計繰入金から国民健康保険事業特別会計繰入金に変更
- 3月臨時会補正予算 (3月30日)  
◎令和2年度一般会計補正予算 (第22号)  
1,673万円増額 計62億941万円
- ◎令和2年度水道事業会計補正予算 (第23号)  
営業収益を100万円増額し、営業外収益を100万円減額する
- ◎令和3年度一般会計補正予算 (第24号)  
1,983万円増額 計49億8,295万円

一月臨時会

行政報告

(一) 火災の発生

令和二年十二月二十日、令和二年中六件目の車両火災が発生しました。

(二) 高波災害の発生

令和二年十二月十七日から二十日にかけて、町内沿岸部で高波災害が発生。被災漁業者数二十九名、一般住宅二棟のほか、漁港・道の越波による通行止め等の被害となった。

(三) 行方不明者の捜索

七十一才の女性が、令和二年十二月十六日から行方不明となり、三日間にわたり捜索を行いました。未だ発見に至っておりません。

三月定例会

行政報告

(一) 新型コロナウイルス感染症対策について

当町でのワクチン接種体制も、六十五才以上の高齢者の接種に向けて準備を進めています。現在、知床らうす診療所での個別接種、週一回程度の集団接種、中標津こどもクリニックの協力により集団接種を実施する予定です。

接種できる状況になりましたら、町政日より等でお知らせ致します。

# 令和3年度

## 予算審査

## 特別委員会報告!!

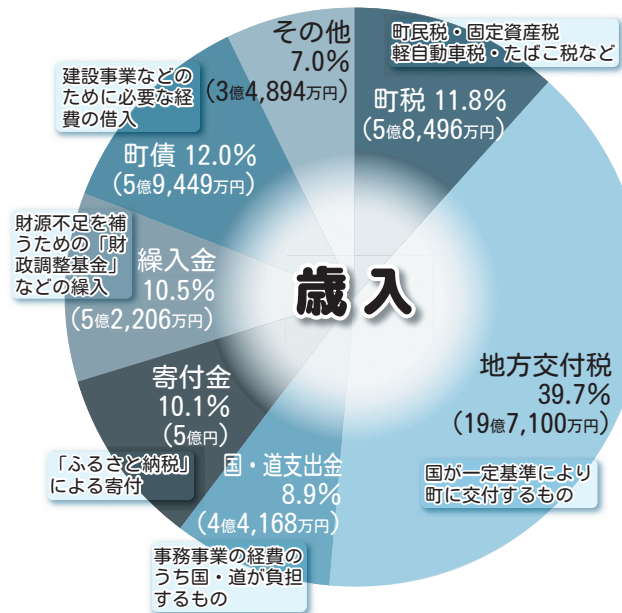
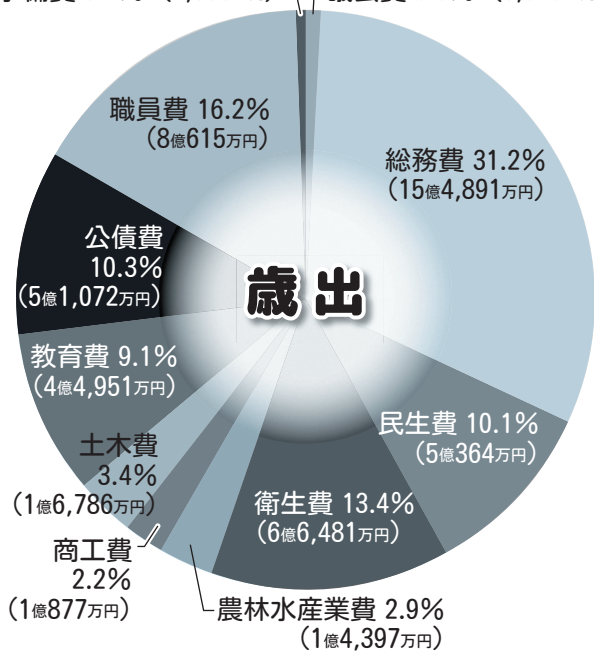
# 各会計予算が決定

令和3年第1回定例会で付託された新年度予算（一般会計・特別会計）について3月11日・12日・15日の3日間にわたり予算審査特別委員会を開催し、慎重かつ熱心に審査が行われ、委員全員の一致により原案通り可決・決定されました。  
 予算審査特別委員長 松原 臣

各会計総額 **70億5,231万円** 前年度比**5.8%減**  
 (千円以下切り捨て)

▶ 一般会計（歳入・歳出）49億6,312万円 前年度比7.2%減

予備費 0.4% (2,000万円) 議会費 0.8% (3,878万円)



※万円以下四捨五入で合計は総額とは異なる場合があります



放課後児童クラブ管理運営委託  
1,398万円



防災行政無線デジタル化整備工事  
3億3,470万円



職員住宅改修工事  
486万円



町営住宅等長寿命化工事  
8,499万円  
 緑町団地Bブロック建替・合併  
 浄化槽の設置等

今年の主な事業

▶ 特別会計（歳入・歳出）

	本年度予算額	前年度比		本年度予算額	前年度比
国民健康保険事業	9億9,277万円	4.0%減	後期高齢者医療事業	7,697万円	5.1%増
介護保険事業	4億7,734万円	0.6%増	国民健康保険診療所事業	2億1,331万円	8.3%増

▶ 水道事業会計（歳入・歳出）

項目	収入予定額	支出予定額	資金期末残高
収益的収入・支出	1億8,853万円	1億8,853万円	2,862万円
資本的収入・支出	5,780万円	1億4,024万円	

◆ 主な質疑内容 ◆

◎ II 質問    ① II 回答

- ガバメントクラウドファンディング活用支援に要する経費について 250万円

◎ 内容について

① 女性連等で組織する「シレットコスミレ」団体が行う花いっぱい活動に対する支援を、クラウドファンディングを活用して行うための経費
- 防災ハザードマップ整備事業委託料 661万円

◎ 内容について

① 現在使用中の防災ハザードマップは平成二十四年に作成したもので、国の「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル」を受け、各種災害の被害想定を更新したハザードマップを整備する。新たに、WEB版を用いてスマートフォンやタブレット等で最新情報が閲覧可能になる。
- 小規模保育事業 2,874万円

◎ 内容について

① 現在の認可外保育施設を小規模保育事業B型に移行することで、0才から就園前の保育体制を整備し、町内の子育て環境を確保する。（施設）

名称 小規模保育事業  
ちゅーりっぷ保育園  
定員 十一名
- 健診データ標準化システム導入事業 418万円

◎ 内容について

① 個人が自身の健康に関する情報について電子データ等の形で円滑な提供や適切な管理、効果的な活用が可能となる環境整備のため、システムを導入する。
- 水産系廃棄物処理施設管理運営に関する経費 480万円

◎ 製品化が不純物の為、利用拡大できないでいる。このため施設への受入れが出来ていない。今後の方針は!!
- 小学校LED改修工事 5,368万円

◎ 内容について

① 羅臼小学校・春松小学校に設置している全ての照明灯を、LED照明灯へ交換を行い、二酸化炭素排出量の削減による環境負荷低減と電力消費量の削減を図る。
- 羅臼幼稚園改修事業 2,079万円

◎ 内容について

① 羅臼幼稚園は建築後三十一年（平成二年建築）が経過し、老朽化による遊戯室フロリングの劣化が激しく、本施設で学ぶ園児たちに危険を及ぼす可能性がある。外壁についても破損箇所が多数あるため本施設の改修を行う。
- 春松幼稚園LED改修事業 988万円

◎ 内容について

① 全ての照明灯をLED化します。
- 町民体育館リニューアルオープン事業 1,561万円

◎ 内容について

① 耐震改修工事が終了し、六月にリニューアルオープンします。乳幼児から小学校低学年が利用できる遊具備品、ランニングマシンなどの備品を整備します。



体育館施設備品購入事業  
1,381万円



海洋深層水管増設工事事業  
6,000万円



じん芥収集車（パッカー車）購入事業  
1,951万円



診療所スプリンクラー改修工事事業  
525万円

# 行政の考えを問う

4人の議員による8件の質問が提出されました。

令和3年

第3回定例議会

## 一般質問

議員 坂本

### 羅臼高校入学予定者が七名 高校の存続に不安

町長

高校を維持するために必要な支援や存続に向けた取り組みを行う

坂本 志郎 議員



からの進学率が高いとはとても言えず、「地域連携特例校」に該当しない恐れがある。

隣町の標津高校は八十名の募集に対し三十二名の出願者数ですが、三十二名の内、地元標津町からの出願者は十五名、地元外からの出願は十七名です。

この十七名の内十三名は羅臼町からの出願者です。羅臼高校存続に向けて必要な支援や取り組みが求められていると思います。

湊屋町長

羅臼高校が将来にわたって輝き続け、生徒から選ばれる魅力ある高校づくりの取り組みとして、一つ目は中高一貫教育を推進しているので、中学校と高校による情報共有と連携の強化を

図ります。

二つ目は、現在羅臼高校で行っている様々な特色ある取り組みを小・中学生に詳しく知ってもらうため、実践発表の場の確保に努めます。

みつつ目として、羅臼高校への進学後、大学等への進学希望者に対し補習を行うなど、手厚い対応が不足していることから、中学入学時から交流事業や、入学説明会などによるPR強化に努めます。

よつつ目として、高校で本来令和四年度から実施を予定していたICTを活用した授業展開による学力向上策を一年前倒しし、令和三年度入学生から先行実施する予定です。必要なICT機器については個人負担が原則ですが、試験的に町

で貸与する事を検討しています。



### 坂本議員その他の質問

○ 新年度予算編成の考え方と進め方

○ 新型コロナウイルス感染症対策  
○ 道・公立学校への「一年単位の変型労働時間制」に関して

※参考資料

(知床未来中学校卒業予定者数)

令和三年度	三十五名
令和四年度	四十二名
令和五年度	四十名
令和六年度	三十二名
令和七年度	四十一名
令和八年度	四十七名

議員 高島

町長

## 二〇五〇年カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現について

カーボンニュートラルに手を上げていく

高島 讓二議員



昨年十月開催の国会において菅総理大臣は「我が国は二〇五〇年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする。すなわちカーボンニュートラル・脱炭素社会を目指す」と宣言されました。

**質問**  
二〇一五年、気候変動枠組条約締約国会議（COP21）がパリにて開催され、一九六カ国が参加しました。パリ協定において二〇二〇年以降の地球温暖化対策は産業革命前からの世界の平均気温上昇を二℃未満に抑え、一・五℃未満を目指す事を目的としています。

これにより温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、世界各国が脱炭素を目指すとしています。

深刻な影響を与えると考えます。

また、地球温暖化は異常気象を引き起こし、大雨洪水や高潮高波、崖崩れなどの原因となります。

我が町の産業の発展や安定化、また、災害のない住みよい町であるためにも「二〇五〇年二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明し、自らが温室効果ガスを排出しない「脱炭素社会の実現」を目指さなければならぬと思いますが、町長はどのようなお考えか伺います。

**湊屋町長**

地球温暖化による気候変動問題は、避けて通ることが出来ない喫緊の課題であり、農作物や生態系への影響等が予測されており、海水温の上昇も一つの要因ではないかと言われているところであり、気候変動対策は「知床羅臼SDGsステートメント」において重点目標に設定している項目です。

我が町は基幹産業が漁業であり、漁業にとって地球温暖化は海水温の上昇を招き、海の生態系や漁獲量に



国の地球温暖化対策の推進に関する法律が制定された事に伴い「羅臼町地球温暖化防止実行計画」を策定し、公共施設等の省エネ対策に取組み、令和元年度では平成二十五年度比で十三・八五%の削減を果たしています。また「COOL CHOICE」に賛同し、環境教育プログラムの活用による啓蒙普及活動など、地球温暖化対策への取組を実施している。

しかしながら、当町は寒冷な気候上、暖房用燃料や漁船等から排出される二酸化炭素等の温室効果ガスも、これ以上の削減は非常に厳しい状況です。

しかし、当町は世界自然遺産「知床」を有する町であり、自然環境保全の重要性を積極的にアピールする立場にあります。

「二〇五〇年カーボンニュートラル」の実現は、当町にとっても重要な目標であることから町民への現状や対策への理解・気運を高め、省エネ化の取組みを更に強化して推進してまいります。

今回、良い機会を頂いたので必要な手続きをした上で、「カーボンニュートラル」に手を上げていきます。

※後日三月十六日の本議会終了後、町長は「ゼロカーボンシティ」を表明した。

小野議員

町長

## 羅臼高等学校の存続について

今後、関係者との意見交換を行いながら進めていきたい。

小野 哲也 議員



組みを行ってきたか、これからどのような取組みを予定しているかお伺いします。

湊屋町長

これまでの取組みは、高校生の水産教室、潜水士の資格取得、ユネスコスクール加盟や地域学としての知床学を開設しました。

**質問** 令和三年度の羅臼高等学校の受験者数は、定員四十名に対して七名となっております。

町は以前より、また今年の町政執行方針でも、魅力ある高校づくりを進めるとしているが、受験者数は急激に低下し魅力ある高校づくりを進めるとしている事

自体、受験生や保護者の方々に伝わっておりません。二年以上前に地域連携校としての歩みを進めて来ていますが、今までどのような取

こうしたプロジェクトへの人的補助や予算補助、備品の確保を行うほか、部活動など大会遠征に係る派遣費用の助成及び移動バスの確保、コロナ対策用備品の提供などを行ってきております。

これからどのような取組みを予定しているかにつきましては、行政だけでなく町民の意見も聞き、保護者や生徒にとって、町民が誇ることのできる魅力ある高等学校づくりを進めるため、



必要な支援や存続に向けた取組みを共に考えていきます。詳細は未定であります。今後必要に応じ、町民アンケートや町内会との懇談会、知床未来中学校PTA、羅臼高校PTAや同窓会との意見交換会を実施するとともに、生徒のニーズ



に応じた対策案などについて検討し、令和四年度入学者選抜に向けて、早期に方向性を示したいと考えています。

いずれにしても、様々な関係団体、産業団体や企業等が一体となり、それぞれが主体的に何かしらの支援につながる取組みも期待し、今後関係者との意見交換を行いながら進めてまいります。





田中議員

## 地域を支える産業の活性化について

町長

有効な施策及び支援策について、協議・検討を継続していく

田中 良 議員



他にどのような施策を考えているのか。

### 湊屋町長

①水産業の低迷は、町の産業全体の影響へと直結するため、危機的状況と認識しています。我が町が進むべき方向は、大きく二つであると考えています。「水産業の持続可能性を高めること」と、「基幹産業をはじめとした関連産業全体の協力を体制づくり」であります。「水産業の持続可能性を高めること」について、基幹産業の中で安定した漁獲を誇ってきたサケ定置漁業は、過去に経験のない大不漁に見舞われており、原因の特定には至らず、資源回復には相当な時間がかかる可能性にあります。このことは、非常事態であり、羅臼漁業



効利用」更に「関連業界の存続及び雇用維持」の視点で、町を再始動させるために関連業界が理念・方向を一つにし、協議していく場づくりが必要と考えており、町と羅臼漁業協同組合がタッグを組んで中心的役割を担い、業界全体での協力体制の構築を目指していきます。

②観光業への有効な施策として、道の駅の駐車場周辺にイベントスペースを設けて、羅臼の地場産品や特産品をその場で食べることができる臨時の店舗やキッチンカーを積極的に受け入れ、観光の拠点である道の駅の更なる魅力向上に努めていきます。新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた業界であり、観光業を立て直しに対する有効な施策等は状況に応じた支援等について、関係団体と連携し協議・検討をしていきます。

③商工業の振興、地域産業の活性化対策として「ふるさと納税」を中心に進めていく以外の施策としては、経済対策及び商工業の振興として、特に町内飲食店の利用を促進するための食事券を含めたプレミアム付商品券等の第二弾発行事業を計画しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響に対する施策及び支援策の具体的な取組みについて、提案を求めるだけでなく、町としても色々なアイデアを提案することで、関係団体の主体的な取組みへの支援について、協議・検討を重ねてきています。

①漁業は、かつてない状況下にあると考えます。地域の産業・経済に多大な影響を与える事から、行政はどのような施策を考えているのか。

②令和三年度の観光業への有効な施策及び支援策について、どのような具体策を考えているのか。

③商工業の振興、地域産業の活性化対策として、「ふるさと納税」を中心に進めていくとの考え方であるが、

協同組合は、関係漁業者と研究者を交えての勉強会を開催する等の行動を始めています。町もこの様な動きに協力体制を敷いてサポートしていきます。また、根室管内さけ・ます増養殖事業協会と研究機関や隣接町とも広域的な情報連携を図りながら、今後の取組みをしていきます。

「基幹産業をはじめとした関連産業全体の協力体制」は、水産業の振興は、町の経済活性と発展につながってきた歴史があり、難局を乗り越えるべく「資源再生」及び「現下の水産資源の有

③商工業の振興、地域産業の活性化対策として「ふる



## Zoom up!

令和2年11月2日開催

## 第2回議会改革サポート会議開催



令和二年九月に発足した委員十五名による羅臼町議会改革サポート会議第二回議会改革研修会が、令和二年十一月二日午後六時から三階議場において開催されました。講師として北海道大学公共政策大学院 山崎幹根教授を招き、「身近な議会へー議会改革サポート委員と議員との協働」と題して講演をいただきました。

## 《講演概要》

〓はじめに〓

・住民から見た地方議員が「身近」であるはずが「縁遠い」存在になり、投票率の低下を招き、無投票当選の増加と議員のなり手不足を引き起こしている。

その要因として、(一)議員の役割の変化 (二)社会での人々のつながりの変化 (三)世の中全体で選挙を行う活力が失われているのではないか?と説明。

※地方議会に求められる役割として

(1)代表機能として議会に多様な民意を表出する「場」となることの重要性(請願、陳情、意見書)。

(2)決定機能、議決することの重要性。公式的、法的効力が発生する。(・条約の制定、改廃、予算、自治体

が課す地方税・使用料・手数料、一定金額以上の契約・条例で議決対象(「議決事件」)を追加することができる。

(3)監視機能・首長、行政活動に対するチェック。議会全体として批判的役割を担う。・「検査権」「監査請求権」「調査権」・首長部局が上程する条例案・予算案・

人事案を議会が否決できる、予算案から当該の項目のみ削除して(減額)修正議決することもできる。

・不信任議決権等の機能を有していると説明。

※地方議員の現実として(二〇二〇全国町村議会議長会調査)

(1)町村議会の一般的な実像  
・議員定数一町村当たり  
定数十一・九人

・男性八十九・一%  
・女性十・九%

・年齢構成は六十〜七十歳が四十六%、七十〜八十歳が二十八%、平均年齢六十三・九歳

・在職年数 四年未満二十四%、四〜八年二十三%、





八十二年十六％  
 ・職業では農業が二十八％、議員専業が二十三％  
 ・平成二十七年当初予算額の一町村当たり議会費の全国平均は八七八万九千円、一般会計歳出総額に占める割合は一・三％  
 ・議員報酬月額額の全国平均は、議長二十八万九、二八八円、副議長二十三万四、一六九円、議員二十一万二、三四九円（羅臼町議会

の議員報酬は十四万八千円)

(2) 議会の公式的な活動  
 ・ 通年の会期制採用は十四町村、招集回数運用により実施三十一町村  
 ・ 定例会は「年四回」八八一町村(九十九・八％)  
 ・ 臨時会は「年二回」が二

議日数は十三・二日  
 ・ 議員が一般質問を行ったのは九二四町村(九十九・六％)。平均延人員は二十四・六人  
 ・ 会議録をホームページで公開している町村は五〇六町村(五十四・五％)  
 (3) 代表機能 請願と陳情  
 ・ 調査期間中の請願の総件数は二、一六五件、陳情六、二一七件  
 一議会当たりの平均件数は請願三・七件、陳情九・八件。  
 (4) 情報公開・共有  
 ・ 議会広報紙を発行しているのは、八七八町村(九十四・六％) そのうち議会単独発行は七八十町村(八十八・八％)  
 ・ 議会中継を実施しているのは五四八町村(五十九・一％) 中継手段は「庁内放送」が三三二町村で最も多く、次いで「CATV」の一八五町村の順。ホームページを開設しているのは七三八町村(七十九・五％)  
 (5) 監視機能  
 ・ 検閲・検査を行ったのは二町村九件、監査請求を行ったのは一町村一件、百条調査を行ったのは五町村六件、再議に付したのは三町村四件、長の不信任議決を行ったのは二町村二件。  
 (6) 議会改革の実践  
 ・ 議会基本条例を制定しているのは二四六町村(二十六・五％)  
 ・ 政治倫理条例を制定しているのは一九一町村(二十・六％)  
 ・ 議会活性化に関して特別委員会を設置するなど議会活性化に関する議会組織を設置しているのは二二三町村(二十四・〇％)  
 ・ 休日議会を開催しているのは三十二町村(三・四％) 平均開催日数は一・三日  
 ・ 夜間議会を開催しているのは十八町村(一・九％) 平均開催日数は一・八日  
 ・ こども議会を開催しているのは一五〇町村(十六・二％)  
 ・ 女性議会は七町村(〇・八％)  
 ・ その他の模擬議会十一町村(一・二％)  
 ・ 住民懇談会や議会報告会を実施しているのは三四六町村(三十七・三％)  
 ・ 議会モニター、議会アドバイザーを導入しているのは三十二町村(三・四％)

最後に

身近な議会づくりとしてサポート委員の事例紹介として斜里町議会、芽室町議会の事例を紹介して約一時間及ぶ研修を終了しました。



Zoom up!

令和3年3月19日開催

## 第3回議会改革サポート会議開催

第三回議会改革サポート会議が、三月十九日午後六時半から議場で開催された。令和二年十一月二日開催の第二回議会改革サポート会議の研修を終えて、第三回は議会議員、サポート



委員それぞれ二班に分かれてサポート委員さんからのアンケート調査を基に意見交換会を開催した。

## 《第一グループ》

大目峰一氏、蝦名恵子氏、太田大輔氏、長谷川華奈江氏（サポーター委員四名）

## 《議員四名》

加藤 勉、鹿又政義、高島讓二、佐藤 晶

## 《第二グループ》

野 祥子氏、野戸克将氏、鹿又真美子氏、濱澤 位氏、西家祐紀氏（サポーター委員五名）

## 《議員五名》

田中 良、坂本志郎、村山修一、松原 臣、小野哲也

## 《サポーターから》

・議員になると、会議・出張が多く、仕事に支障が出るのではないかと

・自分の仕事を休んでまで議員になることは難しい。  
・安い報酬で、仕事を休んでまで議員になる魅力がない。

・国会議員や道議会議員が来町したとき、必ず同行

しなければならぬと聞く。

・選挙に立候補する場合、お金がかかるイメージがある。

・議員になった場合、「選挙に係る費用」「議員の公務日数」「報酬」等を議会だより等で周知してほしい。

・議員は、各団体との話し合い、協議を積極的にすべきである。

・人口減少により、議員だけではなく色々なところで人材が不足している。

・議会として、時代の変化に対応した話し合いがなされているのか知りたい。

・今回のサポーター会議のようなグループワークは、話しやすく良い方法だと思う。

## 《議員から》

・昔は、道外研修や要望活動（陳情）等で、全員参加した時代もあったが、今はほとんどない。

・議員の役職にもよるが、一年に一回の道内研修と

道外研修は四年に一度が基本である。

・議会の休日開催や夜間開催も行っているところもあるが、まだ全国的に広がっていない。

・三期（平成二十三年、二十七年、三十一年）無投票が続いている。議員自身もただ町民に支持されているのかわからない。

・人口減少の中で、議会の運営も変わっていかねればならない等の懇談内容となった。



# 羅臼町議会改革サポート会議 アンケート調査結果

令和3年1月14日（木） 回答件数15名中15名

- Q1** 平成27年度より、年2～3回程度「議会報告会」を開催しておりますが、開催していることを知っていますか？
- |       |     |             |    |
|-------|-----|-------------|----|
| 知っている | 12名 | 監視機能について    | 1名 |
| 知らない  | 3名  | 議会改革の実践について | 4名 |
|       |     | 印象に残らなかった   | 0名 |
|       |     | その他         | 0名 |
- Q2** あなたが「議会報告会」に参加するとしたら、どのような内容を期待しますか。（2つ選択）
- |                        |     |
|------------------------|-----|
| 定例議会・臨時議会の内容を報告してほしい   | 4名  |
| 役場が進めている施策の現況を報告してほしい  | 12名 |
| 町民の意見や要望を聞く機会にしてほしい    | 12名 |
| テーマを絞り、議員と討論する機会にしてほしい | 3名  |
| その他                    | 0名  |
- Q3** 年4回「議会だより」を発行しておりますが、第1回サポート会議で「読みづらい」との意見がありました。どのように改善した方がよいと考えますか。（2つ選択）
- |                         |     |
|-------------------------|-----|
| 写真を多くし、文字を少なくする         | 2名  |
| 専門用語が多すぎるので、わかりやすい言葉で書く | 12名 |
| レイアウトを検討                | 7名  |
| 「2色刷り」から「カラー刷り」に変更      | 1名  |
| 1回当たりの情報を少なくし、発行回数を増やす  | 7名  |
| その他                     | 1名  |
- （議会だよりが読みづらいのは、仕方がない事だと思います。改善して内容が薄くなってしまふのはどうかと。別バージョンで読みやすい物を作るなど、色分けした方が良いのではないのでしょうか。）
- Q4** 今後の議会改革サポート会議について、早急に検討した方がよいと思う議題は何ですか？（2つまで選択）
- |              |    |
|--------------|----|
| 議員の定数について    | 4名 |
| 議員の報酬について    | 3名 |
| 議員のなり手不足について | 9名 |
| 議会報告会について    | 4名 |
| 議会だよりについて    | 6名 |
| 議会ネット中継について  | 4名 |
| その他          | 0名 |
- Q5** 11月2日開催「第2回議会改革サポート会議 サポーター研修会」出席者のみ
- (1) 地方議会の役割について、理解できましたか。
- |             |    |
|-------------|----|
| とても理解できた    | 0名 |
| ある程度、理解できた  | 8名 |
| あまり理解できなかった | 2名 |
| 理解できなかった    | 0名 |
- (2) 地方議会の現状について、どの項目が印象に残りましたか？（2つまで選択）
- |               |    |
|---------------|----|
| 女性議員について      | 1名 |
| 年齢構成について      | 5名 |
| 議員報酬について      | 3名 |
| 議会の公式活動日数について | 1名 |
| 請願と陳情について     | 2名 |
| 情報公開について      | 2名 |
- Q6** 今後も「サポーター研修会」を予定しております。ご希望のテーマがあれば、ご自由に記載願います。
- ・議員活動の中で、対外的対応要素が多いように思われるが具体的にどのような対応があるのか。
  - ・コロナ対面は難しいですが、議員さんも入ったグループディスカッション。
  - ・議会の中でも、それぞれ今、主として取り組んでいることを教えてほしい。
  - ・議員さんの今後の羅臼の展望についてどのような考えを持っているか聞きたい（人口減少など）。
  - ・Webの使い方、SNSの使い方、発信の仕方。
  - ・サポーターの役割をもっと明確にし、議会とどう関わっていったらいいのかを理解したい。
- Q7** 「羅臼町議会に期待すること」「今後の議会改革サポート会議について」等、ご意見がありましたら、ご自由に記載願います。
- ・議会開催日時について、要検討願いたい。議員のなり手不足と関連すると思われる。
  - ・私たちはサポートです。まずは議員さんが何をしたいのか、どんなことを望んでいるのかを知りたいです。
  - ・今後、サポート会議で話し合うテーマについて、「同じようなテーマについて他の地区ではこのような取り組みをしている」等、前回の研修会で見せていただいた様な例があれば、参考に見せてもらいたい。
  - ・これからゆっくり考えましょう。
  - ・次の世代を育てることに、力を入れては如何でしょうか。
  - ・町からの声に対応できるのか、または出来ない理由など、町民が一方通行ではなく返答が頂けることに期待します。
  - ・私は、観光の産業が増えてきているので、漁業・商業・交通などももっと関連付けて、人口が減ってきてても町民が一丸となって町づくりできるよう考えてほしいと個人的に思っています。職業・年代・性別で気づく所が違いますので、色々な人が活用できる公民館等のものがやっぱり必要と感じています。
  - ・前々回「テーマを絞り、議論しては？」との意見が出ていました。私個人的には、色々な話し合い（雑談）の中で議員の方々が初めて耳にすることもありましたので、時間が許すのであれば雑談も少し交えてもいいかと思えます。選ばれた以上、普段町民としてどう思っているのか、代表として発言しても良いのではないのでしょうか。女性が多く集まれば話が脱線してしまう可能性はありますが、それも踏まえて検討して頂きたいです。

## 議会の動き

### 2 月

- 2日 議会だより編集特別委員会 議員 4名
- 7日 2021「北方領土の日」根室管内住民大会  
(根室市) 議長
- 15日 第19回議会改革特別委員会プロジェクト  
議員 4名
- 22日 全員協議会 議員 10名
- 26日 経済文教・総務民生合同常任委員会  
(体育館改修工事視察) 議員 7名

### 3 月

- 1日 議会運営委員会 議員 6名
- 4日 議会運営委員会 議員 6名
- 5日 令和3年第1回定例議会(1日目) 議員 10名
- 8日 令和3年第1回定例議会(2日目) 議員 9名
- 9日 経済文教常任委員会 議員 4名
- 10日 総務民生常任委員会 議員 6名
- 11日 予算審査特別委員会(1日目) 議員 10名
- 12日 予算審査特別委員会(2日目) 議員 10名
- 15日 予算審査特別委員会(3日目)  
議会運営委員会 議員 6名
- 16日 令和3年第1回定例議会(3日目) 議員 9名
- 議会運営委員会 議員 5名
- 行政と議会議員の懇談会 議員 9名
- 19日 第3回議会改革モニター会議 議員 9名
- 24日 第20回議会改革特別委員会プロジェクト  
議員 4名
- 30日 議会運営委員会 議員 4名
- 令和3年第2回臨時議会 議員 10名
- 経済文教常任委員会 議員 5名
- 総務民生常任委員会 議員 5名
- 議会だより編集特別委員会

### 4 月

- 5日 議会だより編集特別委員会 議員 4名
- 14日 地域高規格道路根室中標津道路整備促進  
期成会監査 議長
- 16日 議会だより編集特別委員会 議員 4名
- 第4回議会改革モニター会議 議員 10名
- 21日 根室町村議会議長会定期総会(標津町)  
正副議長



より「町村議会議長会表彰」を受けました

羅臼町議会議長会 令和2年度全国町村議会議長会

町村議会議長会表彰は、各都道府県町村議会議長会会長の推薦のあった二十二町村議会の実績について審査し、今年度は新型コロナウイルス感染症により多くの町村議会で議会機能を維持するとともに、地域の実情に沿った活動が展開された町村議会が選考されました。羅臼



町議会議長会は、各都道府県設置し、住民に開かれた議会の評価を受けました。

町政はあなたのために!!  
議会を傍聴してみませんか。



- \* 町議会の定例会は年4回(3・6・9・12月)開きます。
- \* 町議会の臨時会は必要に応じて随時開きます。

編集を終えて

今回の議会だよりは、議会改革サポート会議の特集が掲載されています。目を通していただければ幸いです。

六十五才以上の方を対象に、新型コロナウイルスワクチン集団接種の予約が始まりました。接種会場は役場一階会議室となります。接種券はもう届いているかと思いますが、注意していただきたい事として、持病がある方や薬を飲まれている方、接種に不安のある方は、事前にかかりつけ医にワクチン接種が可能かどうかご相談の上、予約をして下さい。